

情報を守る目的の暗号化したファイルがメールで送れない！誤送信による漏えい！
VPNが利用できない！など情報伝達や共有手段が難しくなり、効率は低下して行きます。
この難題をクラウドストレージ経由で情報の安全性を確保する画期的なソリューション

秘密分散技術を活用した独自のセキュリティソリューションを開発・販売する株式会社イノベーション・ファーム(本社：東京都千代田区、代表取締役社長：山田 徳行、以下「イノベーション・ファーム」)は、Microsoft Azure BlobストレージやAWSなど世界のグローバルクラウドを情報のHUB-STATIONにして、世界中の誰とでも簡単且つ迅速、そして安全に確実に目的地との情報の共有を実現させる画期的な情報交換ソリューション『Pro-Porter』の提供を10月末より開始致します。情報の伝達がグローバル化する経済において必須事項です。しかし、近年のサイバー攻撃の増加により、①機密情報を守る為にデータを暗号化したファイルはメール添付で送れない。②メール添付の誤送信のリスクがある。③通信の安全性を確保するためのVPNが利用できないなど、情報伝達や共有を行う手段が難しくなり、効率は確実に低下致します。イノベーション・ファームでは、今までの情報を伝達すると言う概念を変え、クラウドストレージを情報共有基盤とした『Pro-Porter』により、これらの課題を解決致します。

【概要】

近年増加しているサイバー攻撃により、被害を拡散させる手段に電子メールの添付ファイルが挙げられています。添付ファイルを開かせるための標的型攻撃メールの中には非常に巧妙な偽装がなされていて、ほとんど本物の業務関係メールと見分けがつかないものもあります。

サイバー攻撃によって電子メールの利用制限が厳しくなり、利用者にとって不便な環境になって来ているのでは？

近年のサイバー攻撃の増加により、被害を拡散させる手段に電子メールの添付ファイルが挙げられております。
電子メールでは、実行可能なファイルや特定のリンクを含むメールなど、ウィルスを拡散させる可能性があるメールがブロックされます。



※Zip化しパスワードを付与すると、自己責任的なメッセージが必ず出る。メールのメーカーの対応策は限界か？



メールの誤送信は情報漏えいに直結！短いパスワードは簡単に解析可能！データのやり取りには細心の注意を！

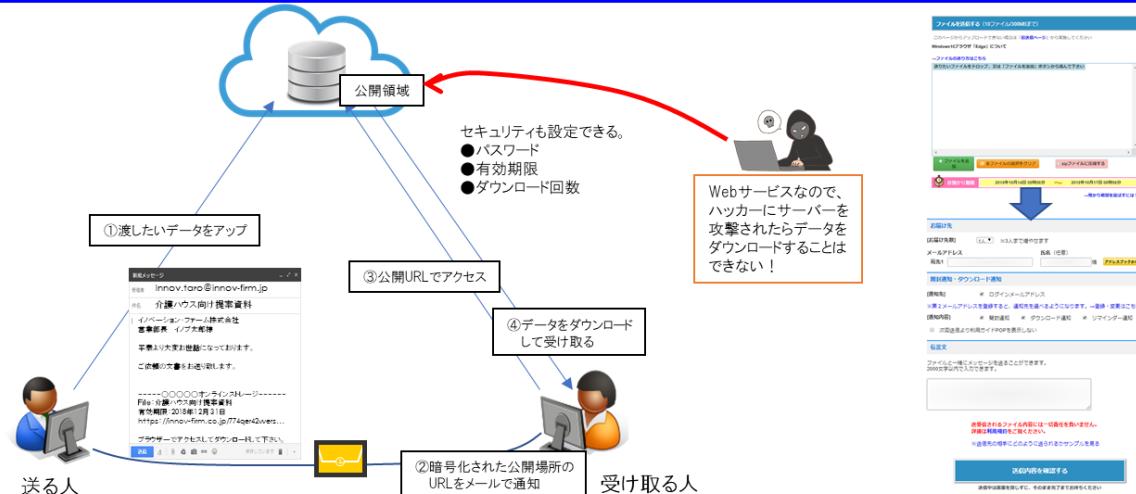
今後、パスワードを付与したZIP化した物は暗号化メールとなりますので、相手先で受信できない可能性が高くなります。
更に.exe形式のファイルが入っている場合は、ウィルス等不正な添付ファイルと判断されることが多い事から、メールで判断できないことから削除や送信不能



その対応策として Gmail はウィルスに対するセキュリティの一貫として、パスワード保護された Zip ファイル内に Zip ファイルが内包された場合、ブロックする仕様になっております。またアカウントを保護するため、絶えず変化する有害なソフトウェアに対応するために msi や exe など 34 種類の特定の形式のファイルは添付できません。OutLook に関しては 104 種類ものファイルが添付できない仕様にしております。

また、暗号化された ZIP ファイルを開けるためのパスワードを別メールで送る事は、「メールの盗聴対策」や「メールの誤送信対策」と言う見解があるが、同一のメール経路で送るのは、窃取される可能性は十分にあり得る。また、短いパスワードは簡単に解読されるので、大文字や小文字、更には英数字を合わせた物が好ましい。今後、パスワードを付与した ZIP 化した物は暗号化メールとなるので、相手先で受信できない可能性が高くなる。中国の拠点や顧客等にはセキュリティを施した PDF も受信することはできない。

オンラインストレージ型ファイル交換サービスは安全で、情報伝達のツールになり得るか？



万が一、URLを送る際に誤送信してしまった直接情報漏えいになる。オンラインストレージの公開領域に置かれているデータは実データなので、ダウンロードされてしまったら取り返しがつかない事になる！

オンライン上で利用するため、①インターネット環境があればどこからでもアクセスすることができる。外出先からでも必要なデータを確認・共有ができるため、業務効率化が期待できます。その他の特徴として②一元管理で従来の手間が簡略化可能、③自社サーバーの管理・運用が不要、④導入・運用・人件費のコスト削減、⑤常に最新のバージョンが利用可能、⑥容量の拡張性が高い、⑦BCP 対策での活用でリスク回避、⑧バックアップの手間が不要等のメリットがありますが、反面①システムや機能はある程度決まっている為にカスタマイズ性に乏しい、②複数人と情報共有をしたりオンライン上でデータ保管をする特性上、情報漏えいや第三者による攻撃などセキュリティリスクは高い、③運用・保守をサービス提供会社が行ってくれる反面、万が一障害が起こった場合、自社で何もできない、④オンラインストレージはアカウント情報が知られてしまうと、誰でもアクセスできてしまうのでパスワードの厳重管理が必要になる。更にハッカーによるオンラインストレージの URL を表示している WEB サーバーが壊されたらサービスが利用できなくなる。

クラウドの利用は自己責任で行わなければならない！事業者や販売者は万が一の場合責任を取ってくれない！

クラウドコンピューティングとは、設定変更可能な IT リソース（ネットワーク、サーバ、アプリケーションなど）からなる共有プールであり、ユビキタスに簡単な手段でオンデマンドでネットワーク経由でアクセスを可能とするモデル！サービス事業者はネットワークの保証はしてくれるのか？



クラウドコンピューティングとは、設定変更可能な IT リソース（ネットワーク、サーバ、アプリケーション）

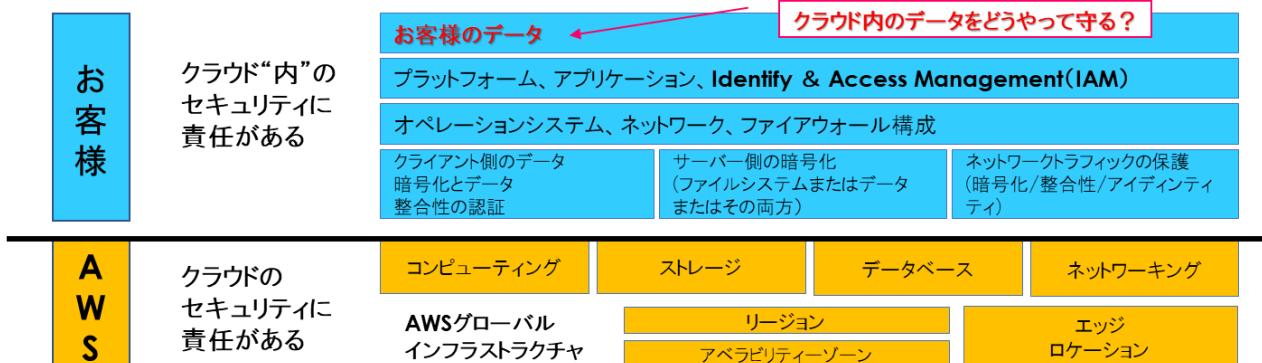
からなる共有プールであり、ユビキタスに簡単な手段でオンデマンドでネットワーク経由でアクセスを可能とするモデルであるが、クラウドに接続するコンピュータからインターネット(通信経路)は契約者である利用者が全て責任を持たなければならない。通信経路には実データが流れているので、常に窃取や盗聴される危険性があることを認識しなければならない。

クラウド事業者はクラウド内の利用者のデータの保証は一切しない！

お客様固有一AWSのサービスにデプロイするアプリケーションに基づいて、お客様のみの責任となる統制です。

以下に例を示します。お客様が特定のセキュリティ環境内でデータをルーティングまたは区別する必要がある。

サービスおよび通信の保護またはゾーンセキュリティ



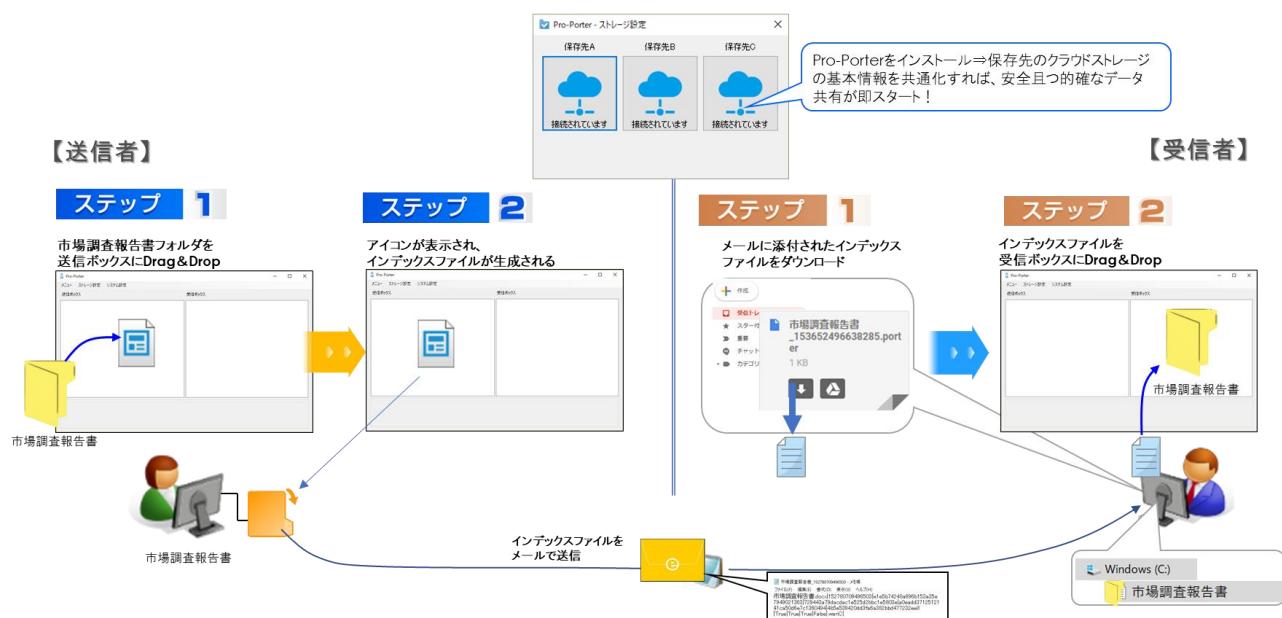
※全てのクラウド事業者は保管しているデータの保証はしていない！データを守る手立ては利用者責任になっている！

また、クラウド内のセキュリティ、つまりクラウド内の保管している物を守るのは預かた人や企業の責任であることを明確に謳っている。どうやって在処が分からぬ物を守れるのか？

【クラウドストレージの良いところだけを活用し、データのセキュアな伝達インフラの Revolution を実現。】

データ(情報)のセキュアで的確な伝達・共有が送り手側・受け手側双方ともたったの2ステップで実現! フォルダもDrag & DropすればOK!

- フォルダを送信ボックスにDrag&Dropするだけ、Zip化してパスワードを付ける必要は一切ありません。クラウドストレージに分散され、生成されたインデックスファイルを受信者に送信するだけ！
 - 電子メールで受信したインデックスファイルを、Pro-Porterの受信ボックスにDrag&Dropするだけ！クラウドストレージから分割片がダウンロードされ、フォルダの復元処理が実行される。
 - 受け手側でフォルダの復元処理が完了したら送信者に開封した事を知らせるポップアップメッセージが表示される。状況に確認・把握することが可能です。
 - 送信者と受信者は保存先のプロファイルやシリアルキーの共有等で信頼関係を結んでいたので、インデックスファイルを誤送信したとしても絶対にフォルダが開示されることはない！
 - 送信されたインデックスファイル本身も無意味なテキストファイルであり、Pro-Porterのアプロケーションを持っている+aの条件が揃わなければ復元是不可能！



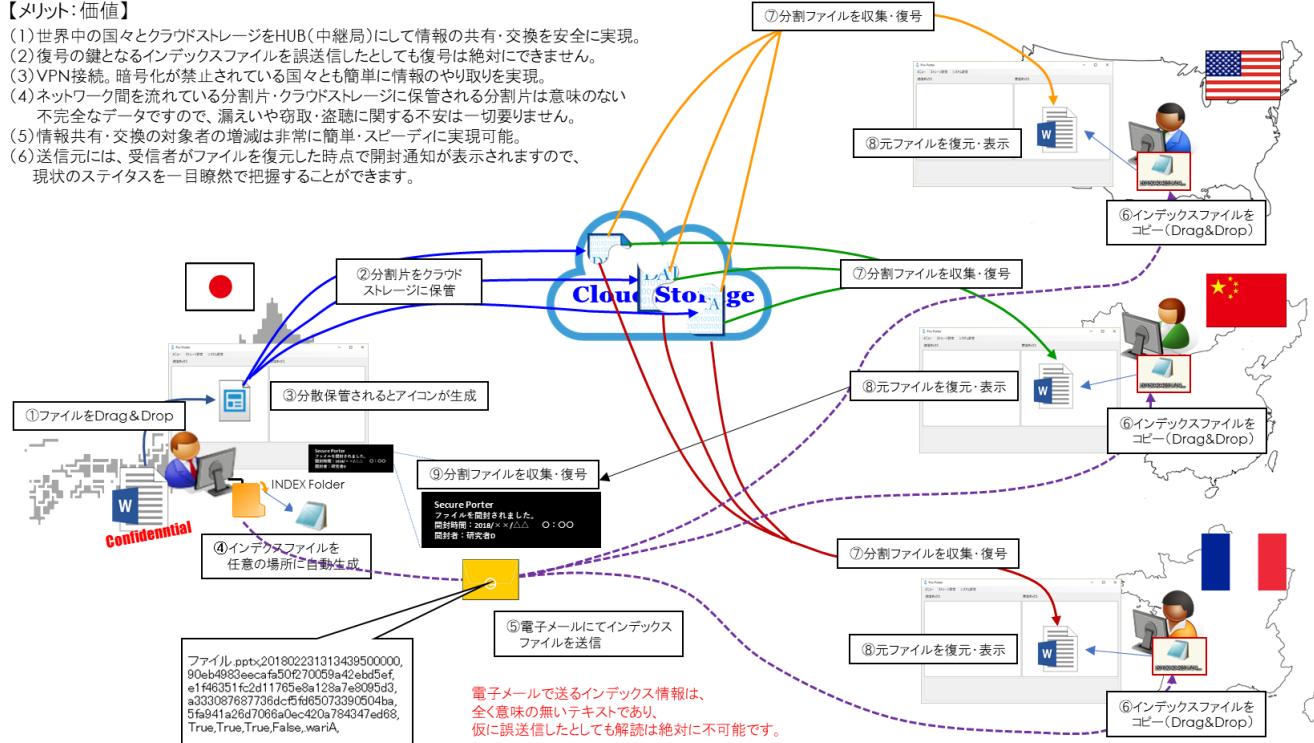
【 Pro-Porter の活用メリット】

- ① フォルダを ZIP 化しなくても、送信ボックスに Drag&Drop するだけで分割化し、共有準備が完了！
 - ② 電子メールで受信したインデックスファイルを受信ボックスに Drag & Drop するだけで復元開始！
 - ③ クラウドストレージに一時保存された分割片をダウンロードする仕組みなので、VPN が利用できない国でも暗号化が禁止されている国とでもデータの伝送を安全且つ確実に行う事が可能です。
 - ④ 一時保管するファイルも復元のキーとなるファイルも無意味なファイルですので誤送信対策も可能です。
 - ⑤ 運用コストはクラウドストレージの使用料のみ、超安価で即座に情報共有が実現できます。

世界中に点在するクラウドストレージをストックヤードに！VPN接続や暗号化が利用できない国とでも安全な情報共有を実現！

【メリット：価値】

- (1)世界中の国々とクラウドストレージをHUB(中継局)にして情報の共有・交換を安全に実現。
- (2)復号の鍵となるインデックスファイルを誤送信したとしても復号は絶対にできません。
- (3)VPN接続、暗号化が禁止されている国々とも簡単に情報のやり取りを実現。
- (4)ネットワーク間を流れている分割片・クラウドストレージに保管される分割片は意味のない不完全なデータですので、漏えいや窃取・盗聴に関する不安は一切要りません。
- (5)情報共有・交換の対象者の増減は非常に簡単・スピーディに実現可能。
- (6)送信元には、受信者がファイルを復元した時点で開封通知が表示されますので、現状のステータスを一目瞭然で把握することができます。



【世界規模のグローバルクラウドを情報共有ストックヤードとして有効活用】

世界中の国々とクラウドストレージを HUB(中継局)にして情報の共有・交換を安全に実現致します。クラウドストレージに一時保管されるデータは『Pro-Porter (秘密分散技術)』によって無意味化され、不完全な状態になつておりますので、漏えいの心配はありませんし、窃取されたとしても利用価値は 0 です。VPN 接続が利用できない国や暗号化が禁止されている国とでも、復元のキーとなりメールに添付するインデックスファイルはテキストですので、問題なく受領されますし、分割片も同様のファイルなので何処の国やエリアとでも開通致します。データを持たなければ、つまりデジタルの情報を持たなければインシデントは起りえません。

-関連製品【Pro-Porter】紹介サイト：http://www.innov-firm.co.jp/product_proPorter.html

■ 株式会社イノベーション・ファーム：<http://www.innov-firm.co.jp/index.html>

経済のグローバル化が急速に進展する中で、情報共有は必要不可欠な事項になっております。しかし、今まで有効手段であったメール活用による情報の授受は誤送信による情報漏えいリスクが高く、企業に深刻なダメージを与える事にもなりかねません。また、ZIP 化しパスワードを掛けると添付すらできなくなります。データを送る・届けるという事象は今後様々な制約を受ける可能性が非常に高くなると想定されます。この事象は著しく業務の効率を低下させます。このような状況の画期的な解決ソリューションが、クラウドストレージを情報共有基盤とした、安全・時短・低成本で情報共有を可能とする画期的ソリューションが『Pro-Porter』です。本ソリューションがネットワークを介して授受するデータや、クラウドストレージにストレージに一時保管されるデータは秘密分散技術で無意味化され、不完全な状態になりますので、個人情報或いは機密情報、著作権情報を確実に守ります。弊社は世界規模のクラウドストレージは元より、国内のデータセンターとも連携を強化し、お客様にとって有益であり、情報をあらゆる脅威から守り、利便性を兼ね備えた新たなセキュリティソリューションを提供して参ります。

※ 本リリースに掲載されている製品名、会社名などの固有名詞は各社の商標または登録商標です。

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社イノベーション・ファーム 広報担当：山田

TEL : 03-5823-4398 E-mail : inquiry@innov-firm.co.jp